



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日

上場会社名 新日本無線株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6911 URL <http://www.njr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 良
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 須藤 雅教 TEL 03-5642-8222
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	23,868	10.3	1,899	58.2	1,931	35.9	1,852	△20.8
27年3月期第2四半期	21,647	6.0	1,200	29.7	1,421	56.7	2,340	91.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,508百万円 (△41.9%) 27年3月期第2四半期 2,595百万円 (106.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	47.36	—
27年3月期第2四半期	59.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	40,551	12,216	30.1	312.27
27年3月期	39,011	10,708	27.4	273.72

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 12,216百万円 27年3月期 10,708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	8.4	3,700	26.8	3,750	11.0	3,700	△19.2	94.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	39,131,000株	27年3月期	39,131,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	9,938株	27年3月期	9,255株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	39,121,350株	27年3月期2Q	39,121,999株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等は「添付資料」3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)において、わが国経済は、円安、株高の進行による国内景気の好調もあり、総じて景気回復基調が続きました。

このような経済状況の中、当社グループでは、主力の電子デバイスの売上が順調に推移し、その他のセグメントにおいても概ね好調に推移したことにより、前年同期間と比べて売上高、営業利益とも増加いたしました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前第2四半期連結累計期間に、当社 川越製作所の土地の一部譲渡に伴う特別利益947百万円の計上があったことにより、前年同期間と比べて、当第2四半期連結累計期間は減少しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、以下のとおりとなりました。

売上高	23,868百万円	(前年同期間比 10.3%増)
営業利益	1,899百万円	(前年同期間比 58.2%増)
経常利益	1,931百万円	(前年同期間比 35.9%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,852百万円	(前年同期間比 20.8%減)

セグメント情報については次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

(マイクロ波管・周辺機器)

官公需・電子管では、主要顧客からの受注が低迷し前年同期間と比べ売上が減少いたしました。民需・電子管では、電子管の売上が増加し、堅調なものとなりました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期間と比べて減少したものの、製造費用の削減等によりセグメント利益は好調に推移いたしました。

売上高	1,386百万円	(前年同期間比 5.7%減)
セグメント利益	251百万円	(前年同期間比 62.4%増)

(マイクロ波応用製品)

国内顧客向けの地上通信用コンポーネント製品の売上が減少したものの、主力の衛星通信用コンポーネント製品は、米国の主要顧客からの受注増により売上が増加し、また、海外顧客向けのセンサーコンポーネント製品の売上也増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高、セグメント利益とも前年同期間と比べて増加し好調に推移いたしました。

売上高	1,614百万円	(前年同期間比 41.8%増)
セグメント利益	256百万円	(前年同期間比 269.5%増)

(電子デバイス)

電源用ICの売上が前年同期間をやや下回ったものの、オペアンプ・コンパレータは堅調に推移しました。また、マイクロ波デバイス(GaAs IC)、SAWやMEMS等の売上が増加し、好調に推移いたしました。

この結果、売上高、セグメント利益とも好調に推移いたしました。

売上高	20,867百万円	(前年同期間比 9.6%増)
セグメント利益	2,185百万円	(前年同期間比 25.3%増)

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末(平成27年9月30日)の資産合計は、現金及び預金、仕掛品の増加などにより前年度末比1,540百万円増加して40,551百万円となりました。負債合計は、長・短借入金が増加したものの、買掛金、未払費用(流動負債「その他」)、退職給付に係る負債の増加などにより前年度末比32百万円増加して28,335百万円となりました。この結果、純資産合計は、前年度末比1,507百万円増加して12,216百万円となり、自己資本比率は前年度末比2.7ポイント増加して30.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年度末比425百万円増加(前年同期間は417百万円の増加)して1,698百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が1,921百万円(前年同期間は2,366百万円)となり、減価償却費982百万円(前年同期間は1,194百万円)、売上債権の減少額669百万円(前年同期間は減少額7百万円)、たな卸資産の増加額△887百万円(前年同期間は増加額△596百万円)などを調整した結果、営業活動では2,766百万円の資金の増加(前年同期間は1,842百万円の資金の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が△1,356百万円(前年同期間の支出△765百万円)となったことなどから、投資活動では1,395百万円の資金の減少(前年同期間は277百万円の資金の増加)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少額が△310百万円(前年同期間は減少額△1,178百万円)、長期借入金の返済による支出が△606百万円(前年同期間の支出△641百万円)となったことなどから、財務活動では928百万円の資金の減少(前年同期間は1,731百万円の資金の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成28年3月期通期業績予想につきましては、平成27年4月28日公表の数値から変更ありません。今後の市況や業績動向等の変化により修正が必要と判断された場合には速やかに開示することといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。前第2四半期連結累計期間については、当該表示の変更を反映させるため、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,273	1,698
受取手形及び売掛金	11,791	10,981
商品及び製品	3,614	3,478
仕掛品	5,928	6,616
原材料及び貯蔵品	2,815	3,020
繰延税金資産	1,032	1,153
その他	253	611
流動資産合計	26,708	27,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,918	25,766
減価償却累計額	△20,557	△20,508
建物及び構築物（純額）	5,361	5,258
機械装置及び運搬具	63,047	62,504
減価償却累計額	△59,837	△59,058
機械装置及び運搬具（純額）	3,209	3,445
工具、器具及び備品	12,349	12,397
減価償却累計額	△11,085	△11,079
工具、器具及び備品（純額）	1,264	1,318
その他	474	746
有形固定資産合計	10,309	10,769
無形固定資産	186	194
投資その他の資産		
投資有価証券	582	523
繰延税金資産	72	77
退職給付に係る資産	478	738
その他	675	688
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,806	2,026
固定資産合計	12,302	12,990
資産合計	39,011	40,551

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,359	4,565
短期借入金	5,905	5,586
1年内返済予定の長期借入金	1,203	1,143
未払法人税等	149	158
役員賞与引当金	30	12
その他	4,563	5,164
流動負債合計	16,211	16,630
固定負債		
長期借入金	4,433	3,887
繰延税金負債	616	606
退職給付に係る負債	6,328	6,517
環境対策引当金	19	19
資産除去債務	55	55
その他	638	619
固定負債合計	12,091	11,704
負債合計	28,302	28,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,220	5,220
資本剰余金	5,223	5,223
利益剰余金	△873	979
自己株式	△4	△4
株主資本合計	9,566	11,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	292	252
為替換算調整勘定	△20	△330
退職給付に係る調整累計額	869	874
その他の包括利益累計額合計	1,141	797
純資産合計	10,708	12,216
負債純資産合計	39,011	40,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	21,647	23,868
売上原価	17,186	18,341
売上総利益	4,460	5,526
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,445	1,524
退職給付費用	67	44
開発研究費	530	728
その他	1,215	1,329
販売費及び一般管理費合計	3,259	3,626
営業利益	1,200	1,899
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	4
為替差益	174	—
屑売却益	47	44
受取賃貸料	50	36
その他	16	33
営業外収益合計	292	119
営業外費用		
支払利息	63	46
為替差損	—	15
シンジケートローン手数料	2	2
損害賠償金	3	22
その他	2	1
営業外費用合計	71	88
経常利益	1,421	1,931
特別利益		
固定資産売却益	952	0
特別利益合計	952	0
特別損失		
固定資産除却損	6	9
固定資産売却損	0	—
リース解約損	0	—
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	7	9
税金等調整前四半期純利益	2,366	1,921
法人税、住民税及び事業税	135	187
法人税等調整額	△109	△118
法人税等合計	26	68
四半期純利益	2,340	1,852
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,340	1,852

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	2,340	1,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	△39
為替換算調整勘定	186	△309
退職給付に係る調整額	23	5
その他の包括利益合計	255	△344
四半期包括利益	2,595	1,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,595	1,508
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,366	1,921
減価償却費	1,194	982
固定資産除却損	6	9
有形固定資産売却損益(△は益)	△952	△0
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△30
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△174	△34
受取利息及び受取配当金	△3	△4
支払利息	63	46
シンジケートローン手数料	2	2
為替差損益(△は益)	1	100
売上債権の増減額(△は増加)	7	669
たな卸資産の増減額(△は増加)	△596	△887
仕入債務の増減額(△は減少)	83	290
その他	166	△66
小計	2,167	2,998
利息及び配当金の受取額	3	4
利息の支払額	△64	△45
シンジケートローン手数料の支払額	△0	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△263	△190
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,842	2,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△765	△1,356
有形固定資産の売却による収入	1,124	1
無形固定資産の取得による支出	△87	△45
その他の支出	△9	△3
その他の収入	15	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	277	△1,395
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,178	△310
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△641	△606
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△11	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,731	△928
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	△17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	417	425
現金及び現金同等物の期首残高	609	1,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,026	1,698

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	マイクロ波管 ・周辺機器	マイクロ波 応用製品	電子デバイス			
売上高						
外部顧客への売上高	1,469	1,138	19,039	21,647	—	21,647
セグメント利益	154	69	1,743	1,967	△766	1,200

(注) 1 セグメント利益の調整額の金額△766百万円は、報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計とセグメント利益の調整額との合計が、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	マイクロ波管 ・周辺機器	マイクロ波 応用製品	電子デバイス			
売上高						
外部顧客への売上高	1,386	1,614	20,867	23,868	—	23,868
セグメント利益	251	256	2,185	2,692	△792	1,899

(注) 1 セグメント利益の調整額の金額△792百万円は、報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計とセグメント利益の調整額との合計が、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以上